



「優待」含め、がんばれ「業界銘柄」

何やら、世間では「株ブーム」再来だそうです。それも、アベノミクスやNISA（小額投資非課税制度）等を背景に株を売買して利益を得るだけでなく、配当金や優待品をもらうことが目的という人が、特に増えているとか。

この背景には、最近よく名前を聞く桐谷広人さんという方の影響が大きいでしょう。桐谷さんは元々棋士として活動していた際、副業的にやっていた株式投資で大きな利益をあげたものの、いわゆる「リーマンショック」で6分の1に減らしてしまい、棋士引退後は配当金や優待品を活用して暮らしている…という。TV番組や講演会で、そうした体験談やおすすめ銘柄を紹介するなどして、大人気を集めています。

かくいう私もけっこう株歴は長く、かれこれ25年程は続いているのでしょうか。きっかけは1988年に平和が株式を店頭公開したことで、パチンコメーカーの株主になって、株主総会に行ってみよう！と思い、お金を貯めてその数年後、遂に念願の株主になることができました。当時はネット取引などないので、電話か証券会社の店頭で売買注文を出さねばなりません。「6412（※株主番号）平和を成り行きで、100株」と、上ずった声で注文した時の緊張やら達成感は、何とも言えないものでしたね。

その後は平和以外にもSAN KYO、ユニバーサル、セガサミーといった銘柄を購入し、あこがれ（笑）の株主総会にも出席を果たしています。…が、実際に参加して

みると、進行そのものは非常に事務的だったり、いわゆる「シャンシャン総会」としてすぐに終了、というパターンも少なくないことが分かりました。

総会終了後、懇親会を開催するメーカーもありますが、会場ではまさにサバイバルのような争奪戦が繰り広げられ、あっという間に食事類がなくなってしまい、人いきれや異常な熱気にグッタリ。そんなわけでここ数年は、すっかり足を向けることがなくなってしまっています。

さらに、パチンコ関連銘柄は強く上昇する材料が乏しくなって来たため、最近では長期保有をなるべくせず、株主優待で化粧品やお米などをもらって楽しめる銘柄を買うようになりました。私もすっかり「株ブーム」に乗せられてしまっている感がありますが、ただ、そのために大損をしてしまっただけでは本末転倒。

優待品をもらうためには株を所有していなければならない「権利確定日」というのがあり、その少し前から仕込んでおいて、価格そのものの上昇と優待や配当金のトリプルで得をする…という理想の状態を目指すように心がけているのです。もし権利日より前に大きく上昇して、配当金などよりかなり得だと判断した場合は売却するなど、臨機応変（※権利日以降、急落することもあるため）な策を講じてみるのも、楽しい“戦略”です。

要は無理せずもらえるものでもらう、といった感覚で、余裕のある投資を楽しめれば御の字といったところですが、本当はやはり、パチンコ銘柄にももっと盛り上がってほしいところ。数年前まで株主優待がないのが当たり前だった中、近年は「ゴルフ場優待券」など株主還元を積極的に行うところも増えて来たりして、今後に期待できるかもしれません。できればゴルフをしない人向けにも考慮して、先ほどの桐谷さんにも紹介してもらえそうな、楽しい優待銘柄が出て来てほしいな、と思っています。

MEMO★RANDOM

じんぼう・みか

法政大学卒業後、文具メーカー勤務を経て業界誌記者となり、1993年独立。取材記事、コラムなど連載。近著「パチンコ年代記」（バジリコ、07年）



2004年、特別に配布されたサミーの株主優待品Edyカード